

グローバルCOEプログラム「統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成」人材育成プログラム平成21年8月募集について

平成21年 7月 30日

本拠点の人材育成プログラムは、地球システム科学を牽引する研究者や研究コーディネータに加え、学術・環境分野の行政・教育および一般企業などで、多様なキャリアパスを自ら開拓できる人材の育成を目的とする。具体的には、GCOE-RA や国際学会参加支援などの公募型や国際フィールド科学サマースクール、ラボ実習／モデリング実習などの企画型、客員招聘教員による集中講義・セミナーといったプログラムを用意している。学生は、これらの事業に参加することで0.5～4クレジットが取得できる。合計11クレジット以上を修め、自らがまとめた博士論文とともに、国や地域、学術組織に対し、適応策などの実践的な提言をする修了課題を行った博士後期学生には、「統合フィールド環境科学修了書(Diploma of Integrated Field Environmental Science)」が授与される。

平成21年8月は、以下の公募型人材育成プログラムを募集する。募集要項、申請書は、GCOE の人材育成に関するホームページ(<http://www.ees.hokudai.ac.jp/gcoe/careerup/200908/index.html>)に掲載する。申請の締め切りは8月18日(火)である。

応募対象：環境科学院 4 専攻および農学院環境資源学専攻に属している博士後期課程学生。

環境科学院に参画もしくは農学院環境資源学専攻に主参画している、若手教員(特任教員を含む)および教員、および、その下の若手研究者(博士研究員等)。博士後期課程学生が応募資格となっているものは、旅行、招聘、企画実施の時点で博士後期課程学生であれば応募可能。なお、各事業によって応募資格は異なることに注意。修士課程学生は、一部のプログラムを利用できる。学生や若手研究者は、指導教員や受入教員と相談してから応募すること。

(c) H21 国際学会・ワークショップ等参加支援

目的：海外で行われる学会やワークショップ・会議などに参加することで、国際的な視点で研究するようになり、国際的に活躍する研究者となる第一歩を後押しするため。

応募資格：博士後期課程学生・若手研究者・若手教員

渡航対象期間：H21年10月～H22年4月(ただし年度をまたぐ渡航はできない)

不採択となった次回募集対象期間内の応募は次回も応募可能。今後は、H21年12月(対象期間：H22年2月～8月)、H22年4月(H22年6月～12月)に募集予定。

審査基準・支給額：海外での国際学会等での初めての発表を優先して採択。支給額は「航空券費用+宿泊費(1泊あたり8000円)」とする予定である。年間40件程度採択予定。

(d) H21 年度海外交流支援・海外調査支援

目的：海外に短期間滞在すること、あるいは、国際的実務機関等で長期インターンシップ経験を

することにより、国際的な研究のつながり(共同研究)や実務的な視点を取り入れた研究が行えるようになり、国際的に活躍する研究者や実務者となる第一歩を後押しするため。また、海外におけるフィールド調査で国際的な研究のつながりを促進するものについても支援対象とする。

応募資格： 博士後期課程学生・若手研究者・若手教員

渡航対象期間： H21 年 10 月～H22 年 7 月(ただし年度をまたぐ渡航はできない)

不採択となった次回募集対象期間内の応募は次回も応募可能。今後は、H21 年 12 月(対象期間：H22 年 2 月～11 月)、H22 年 4 月(H22 年 6 月～H23 年 3 月)に募集予定。

審査基準・支給額：海外交流と海外調査毎に申請書を用意し、審査を行い、必要に応じて追加質問する。支給額は「航空券費用＋宿泊費実費(上限付き)」とする。宿泊費支給額上限は、標準的には 15 万円または1ヶ月分とし、滞在期間によって増減を行う予定である。年間 20 件程度採択予定。

(e) H21 年度海外研究者招聘 A, B

目的： 博士後期課程学生、若手研究者ならびに教員が海外研究者(博士後期課程学生を含む)を招聘することにより、よりレベルの高い研究や国際研究交流を行うことを支援するため。

応募資格： 博士後期課程学生・若手研究者・教員

招聘対象時期：H21 年 10 月～H22 年 4 月(ただし年度をまたぐ招聘はできない)

不採択となった次回募集対象期間内の応募は次回も応募可能。今後は、H21 年 12 月(対象期間：H22 年 2 月～8 月)、H22 年 4 月(H22 年 6 月～12 月)に募集予定。

募集内容・支給額：海外研究者(学生も含む)を招聘する旅費の支援。海外招聘 A(1名が 2 週間～2 ヶ月程度滞在、滞在期間中に講義・セミナー)・海外招聘 B(数名以内が国際ワークショップなどのために滞在。当該ワークショップを GCOE 主催・共催と位置づける)に分ける。支給額は「航空券費用＋宿泊費(1泊あたり 12000 円)」を基準とし、120 万円を上限とする。原則として 5 専攻教員・学生向けのセミナーを義務づける。年間 14 件程度採択予定。

(f) H21 年度国内研究者招聘

目的： 修士課程学生、博士後期課程学生が国内研究者(学生を除く)を国内ワークショップなどに招聘することにより、日本に滞在中の海外研究者を招聘することにより、よりレベルの高い研究や研究交流を行うことを支援するため。

応募資格： 修士課程および博士後期課程学生(規定修了年数を越えない)

招聘対象時期：H21 年 10 月～H22 年 4 月(ただし年度をまたぐ招聘はできない)

不採択となった次回募集対象期間内の応募は次回も応募可能。今後は、H21 年 12 月(対象期間：H22 年 2 月～8 月)、H22 年 4 月(H22 年 6 月～12 月)に募集予定。

募集内容・支給額：ワークショップなどに数名以内の国内研究者を招聘する旅費の支援(当該ワークショップなどを GCOE 主催・共催と位置づける)。「航空券＋宿泊北大規定額」を基準とし、

20 万円を上限とする。他大学の学生旅費は支援しない。原則として 5 専攻教員・学生向けのセミナーを義務づける。年間 7 件程度採択予定。

(g) H21 年度人材育成自由企画 B

目的: 自由に発想された企画により、人材育成プログラムの目的である、地球システム科学(地球科学・生態科学・物質科学など)を牽引する研究者や研究コーディネータに加え、学術、環境分野の行政・教育および一般企業などで、多様なキャリアパスを自ら開拓できる人材の育成を行うため。

応募資格: 修士課程および博士後期課程学生・若手研究者・教員

対象時期: 平成 21 年 10 月～平成 22 年 3 月に実施する企画。

募集内容・支給額: 今回は自由企画 B(100 万円以内)を若干数募集する。他の人材育成プログラムに当てはまらない、人材育成に関わる優れた提案。趣旨、企画内容、予算措置などをフリーフォーマット(A4 1～2 ページ)で提案を受付、面接、再提案などを経て採択。なお、H22 年度に実施する自由企画 A(500 万円以内)ならびに自由企画 B は H21 年 12 月に募集予定。

以下のプログラムについては今回は募集しない。

(a) H21 年度次世代研究者育成プログラム(GCOE-RA)

募集時期: 4 月(10 月入学 D1 のみを対象に半年間 RA 雇用を 10 月に募集予定)

応募資格: 博士後期課程学生(GCOE-RA としての雇用は在籍年数 3 年を越えないこと)

(b) H21 年度若手研究者公募研究助成

募集時期: 4 月

応募資格: 博士後期課程学生・若手研究者。但し、規定により JSPS 特別研究員および類似の助成金を受けている人を除く。

申し込み・問い合わせ:

北海道大学大学院環境科学院 GCOE プロジェクト支援ユニット

〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 5 丁目

(地球環境科学研究院管理棟1階事務室内)

人材育成プログラム申し込み専用メールアドレス gcoe-cup@ees.hokudai.ac.jp

問い合わせ・その他一般メールアドレス gcoe@ees.hokudai.ac.jp

いずれも(at)を@で置き換える。

電話: 011-706-4861, 4862 FAX: 011-706-4867

人材育成プログラム	申請者資格					募集時期・実施期間		助成金額		備考
	修士	博士	博士 超過	若手 教員	教授	募集 (月)	対象(月)	予定採 択件数	標準金額 (万円/件)	
a 次世代研究者育成プログラム(GCOE-RA)	×	◎	×	×	×	4	7~N3	90	27, 54, 81	
b 若手研究者公募研究助成	×	◎	○	○	×	4	6~3	14	50	
c 国際学会・ワークショップ等参加支援	×	◎	○	○	×	4 8 12	6~12 10~N4 N2~N8	40	25	
d 海外交流・海外調査支援	×	◎	△	◎	×	4 8 12	6~N3 10~N7 N2~N11	20	40	
e 海外研究者招聘 A, B	×	◎	△	◎	○	4 8 12	6~12 10~N4 N2~N8	14	80	
f 国内研究者招聘	○	◎	×	×	×	4 8 12	6~12 10~N4 N2~N8	7	15	
g 人材育成自由企画 A, B	○	◎	△	◎	○	12	(1)4~N3 (6~N3) (10~N3)	5	150	自由企画 A
						(4) (8)		6	50	自由企画 B

- 実施時期の N は来年(例:N3 は、来年の 3 月を意味する)
- 申請者資格 ◎: あり(推奨)、○: あり(採択実績多数有り)、△: あり(博士号取得を行って欲しいことから、採択はかなり難しい)、×: 資格無し。
- 資格は実施時期の身分で判断される(例えば、実施時点で博士後期課程学生ならば修士 2 年が応募可能、博士後期課程学生(在籍年数 3 年超過)でも、博士号取得を条件に採択されている)。
- (g)人材育成自由企画は、必要に応じて追加募集を行う。